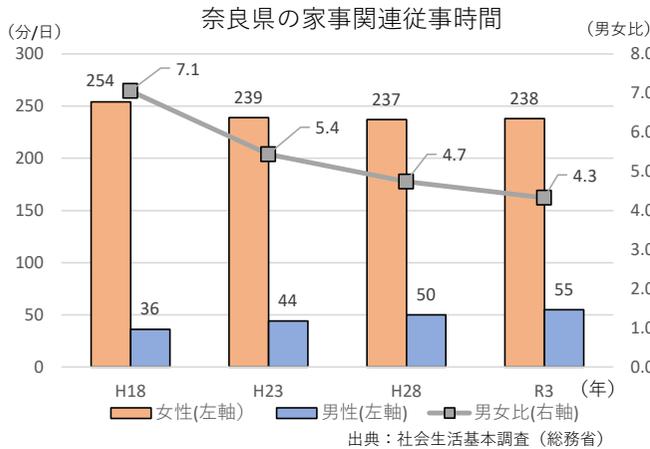


- ◆女性の家事関連従事時間は概ね横ばいであるが、男性の家事関連従事時間が増加したことにより男女比は改善傾向にある。
男性の家事時間・育児時間別にみると、育児時間は大幅に増加したが、家事時間は微増にとどまり、家事は依然として女性の負担が大きい
- ◆女性の就業率が上昇しているにもかかわらず、女性の家事関連従事時間が減少していないため、女性の負担が大きくなっていると考えられる。
- ◆男性は、育児休業取得率が上昇し、育児時間も増加していることから、男性の育児への参画が進んでいることが窺える。

① 家事関連従事時間

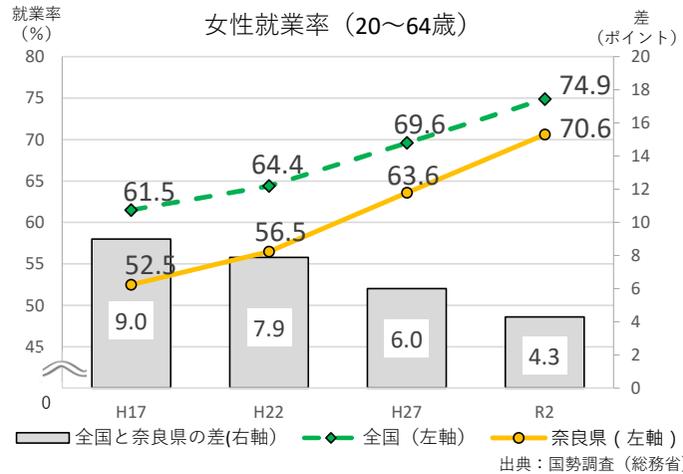
※家事関連従事時間は、「家事」「介護・看護」「育児」「買い物」の合計。

- 男性の家事関連従事時間の増加により、男女比は**0.4ポイント改善**
- 女性は依然として家事関連従事時間が長い(女性：全国1位、男性：全国12位)



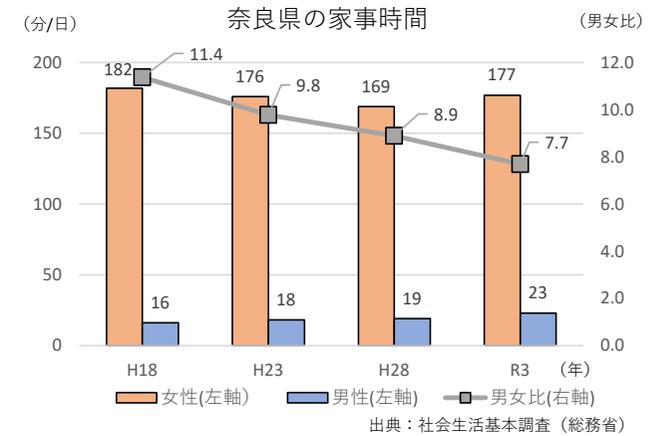
② 女性の就業率

- 奈良県の女性の就業率 (20~64歳) は**70.6%**と、依然として**全国最下位**
- 5年前と比較した**伸び率は7.0ポイント**と、**全国1位** (全国5.3ポイント)



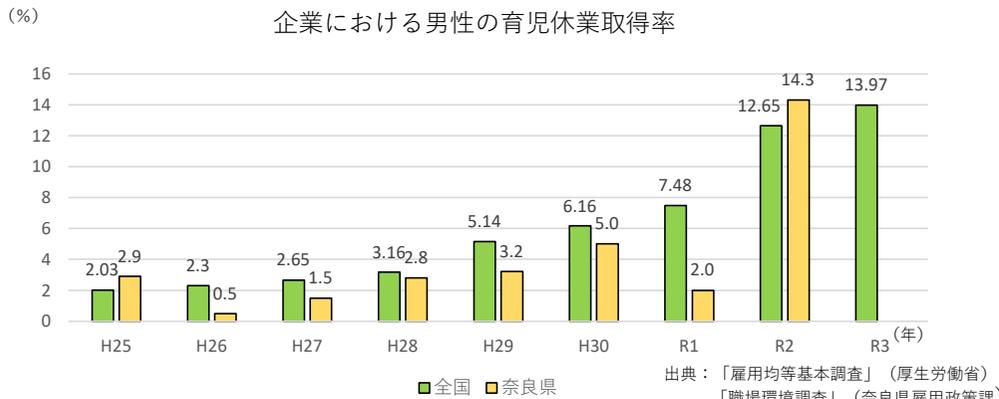
③ 家事時間

- 奈良県の男性の家事時間は微増にとどまっている
- 家事関連従事時間の男女比と比較しても、男性の家事への参加があまり進んでいない



④ 男性の育児休業取得率

- 男性の育児休業取得率は令和2年度に大幅に上昇した



⑤ 育児時間

- 平成28年から令和3年にかけての奈良県の男性の育児時間は、全国と比較して**伸びが大きい**

